戰旗　毎週火曜日発行　第三七号　一九六〇年一一月八日

昭和三五年四月廿日第三種郵便物認可

戰旗

一九六〇年十一月八日発行
発行所
新宿区東大久保二の一五五
世界労働運動研究所
TEL (371) 8481
編集 発行人 綿木 斎
一部 拾円

共産主義者同盟
「戰旗」固定購読
お申込みは
新宿区東大久保二の一五五
戰旗経営局
堀井善弓東京一二〇〇十四番
定価 一部 拾円
月四〇円 半年 二四〇円
送料五円 送料三十円

（一）

労働者諸君、先進的学生、インテリゲンツィア諸君！　十一月七日、ロシア・プロレタリアートはレーニン・トロツキーの党に指導されて圧政と汚辱の中から決然と立ち上り、ブルジョアの権力を打ち倒し、自らを縛から解き放った。ブルジョアジーの支配していた世界の一角は崩れ、プロレタリアートの手に奪いかえされた。世界プロレタリアートはロシアにおいて、自らの解放と世界の繁栄を開始したのだ。

「現代社会の最大罪悪であるプロレタリアーは公的社会を構成する諸層と全上部構造を空中にふきとばさなければ、おきあがることも身をのばすこともできない。」（マルクス）　一切の生産手段を独占することによって、プロレタリアを圧し、より一層の搾取と共に人間的本質を奪い去り、人間的尊厳を強いることによってのみ生存しているブルジョアジーを打倒することなくしてプロレタリアートの解放は不可能である。

他ならぬ自らの労働によってブルジョアジーの富と自らの貧困を、そして自らに対するブルジョアジーの支配を生み出していたプロレタリアートは、自らの手で自らを解き放たねばならない。社会の他のどの階層もその力を持っていない。

ブルジョアジーに死をもたらす武器をとるべき人々は、プロレタリアートだけである。世界のプロレタリアーは、絶縁と絶足の中から立ち上り　プロレタリアートの力を全世界に示したのだ。世界のプロレタリアートは、自らの手で自分を解き放たねばならない。昨日までて自分池と同じ様に身をかがめて働き、他人のための労働としてしか自分の力を知らなかったこの人々が、堂々と大地に立ち上り、汚辱と悪徳に満ちたブルジョア社会を揺るがす炎が全ヨーロッパ・アルジョアジーの窓に向らの束縛が見てふるえと同気を転倒してきった。"スパルタクス（ドイツ共産党）"がポツダムエヴィッと結んだ、ヨーロッパは労働者のものになってしまうノ」と。レーニンは世界プロレタリアートに高らかに呼びかけた、「ロシア革命は世界革命の序曲である！」

（二）

一九六〇年十一月七日例年のように世界のスターリニスト達は世界中行進としてロシア十月革命を祝っている。モスクワの「赤い広場」では、労働者の頭上をジェット機が編隊飛行をし、人工衛星の下でフルシチョフは、平和共存」を指示されて、「共産主義への移行」を世界に宣言する。資本主義の中にいじこめられているプロレタリアートは、平和共存」を指示されて、「共に、「社会主義ソヴェト」を守っている。レーニンの遺業をわれわれは受けついだ、とスターリニスト達はロシア革命をたたえ、同時に、「社会主義ソヴェト」を脅ている。「社会主義ソヴェト」を脅ているのか？

社会のすべての富を生み出す労働力以外の姿が特権を享受しているとすれば、資本主義社会だけである。

ロシア・プロレタリアートは、資本主義の支配を、ロシア革命において、プロレタリアートは、官僚特権層に、革命の成果を奪奪されたのだ。かかる「社会主義」が共産主義に移行するとは、ロシア・プロレタリアートは資本家との「平和共存」の中に凍結してあいたままで、一国のみが共産主義に「移行する」ことは可能とも思わなかつたし、また誠みようとも思はなかった。「ロシア革命の不可分な一部をなす。」元来共産主義は世界革命としてのみ現実的である。世界のプロレタリアートを解放せずして、プロレタリアートは、資本の支配する世界資本主義のただ中での「一国社会主義」の固定化は「私有財産の制度に腐敗された社会」の復活に、「社会主義ソヴェト」を脅ている。レーニンの遺業をわれわれは受けついだ、とスターリニスト達はロシア革命をたたえ、同時に、「社会主義ソヴェト」を脅ているのか？

ロシア・プロレタリアートは、官僚特権層に、革命の成果を奪奪されたのだ。かかる「社会主義」は

アルジェリア戦争とフランス新左翼

黒川　透

（一）

一〇月二七日、フランス全学連（UNEF）の二アルジェリア労働者の集会は、パリの学生用寄宿舎内で、UNEFの集会に引続いてストをおこなうことになっていた。この集会は、パリの学生を集めて開催中、去年のC）、「全国教育労働者連盟」（CFTA）と、「全国教育者連盟」（CFTE）、「全国教育者」組織、社会党左翼にあい、数千の警官隊の襲撃にあい、百人以上が殴られ負傷者が出た。二七人が逮捕された。火は中仏のリヨン、南仏のツールーズに燃えつつ、各地で学生は警官隊と激しい衝突をくり返した。ツールーズでは、警官隊のパリ、リヨンに引続いて、ロワルー地方の